

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



▲「あそこにいる！」(11月14日(金)、倉吉愛児園園児約20人が来園)

## 待っていたよ、リスさん！

～倉吉パークスクエア「ニホンリスオープンケージ」再オープン～

平成16年1月から閉鎖されていた倉吉パークスクエアの「ニホンリスオープンケージ」が再開されました。

現在、オープンケージには、12匹(オス5匹、メス7匹)のリスがおり、倉吉ニホンリスの会が中心になって飼育管理を行っています。

当分の間は、リスの繁殖を優先するため、開園時間を、土・日・祝日の午後2時～3時に限定しています。なお、保育園・小学校など5人以上の団体単位での事前予約は随時受け付け、調整しています。

また、エサとなるクルミやひまわりの種、栗やカボチャの種の寄贈もお待ちしております。※問合せ先：倉吉市立図書館(☎47-1181/☎47-1180)



倉吉市制55周年

### ～倉吉市は市制施行55周年を迎えました～

#### ◀市制55周年記念ロゴマーク

ひらがなの「くらよし」と「55」を表す5つの頂点を持つ星で、きらめく55年間と、ともに手を携えて、輝かしい未来へ伸びゆく倉吉市民を表現しています。

#### CONTENTS

- 倉吉市から日本一の選手誕生……………2～3
- 倉吉市同和教育研究会活動報告……………4
- ハート・バリアフリー……………5
- インフォメーション・プラス……………6～9
- インフォメーション……………10～13
- あんしんファイル……………14
- レッツ！介護予防/  
国民健康保険/国民年金……………15
- 出かけてみよう……………16～17
- まちかどピンナップ……………18
- 遙かな町へ/ソナ・チャン・イヤギ……………19
- 若者の定住化に向けて/人口……………20

# 倉吉市から日本一の選手誕生

萩原選手(市営陸上競技場にて)



神奈川県の日産スタジアムを舞台に行われた第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会。全国から集まった選手が3日間にわたって、それぞれの種目でしのぎを削りました。河北中学校2年生の萩原くららさんは、大会2日目に行われた「走り高跳び女子B」の競技で1m64cmを跳び、見事優勝されました。萩原さんに大会を振り返ってもらいました。

**当日のコンディションはどうでしたか？**

大会当日は、いつもどおりでした。気温もちょうどよかったです。大会に出発する前に、陸上部の友人から「楽しんでこい！」という内容の手紙をもらったので、大会を楽しもうという気持ちでした。

**競技中は緊張しませんでしたか？**

競技の始めは緊張していましたが、でも、中盤から自分のペースを取り戻して、最後は楽しく跳ぶことができました。1m61cmを跳んだ時点でいつの間にか残りの選手が2人になっていました。競技に集中していて気付かなかったのとでもびつくりしました。



河北中学校の陸上部で、走り高跳びを教えている朝井校長は「今大会は大変レベルの高い大会だった。それにもかかわらず、自分の力と持ち前の勝負強さを発揮し、優勝できたことに大きな意義がある」と改めて萩原選手のすごさを語られました。



▲市長と教育長に嬉しい優勝報告をしました(10月30日)

## 大会で力を発揮する秘訣は？

小学校時代に陸上顧問の先生からいただいた緑色の腕輪を見ると競技に集中できます。大会中も緊張をほぐしてくれるなど、支えになっています。



## 成功した瞬間を覚えていますか？

最後の1m64cmの試技で2回失敗してしまいました。

今までの自己新記録が1m62cmだったので、残りの試技が1回になった時に、それまで以上に集中して跳びました。その時は本当に夢中で、頭の中も真っ白でした。

成功した瞬間は、自己新記録が出たことを一番に嬉しく思いました。

## 練習で心がけていることは？

常に本番を意識して、練習中でもいつも集中して気を抜かないように心がけています。

## 最後に萩原選手の今後の目標を語ってもらいました

来年は中学最後の年。全国中学校体育大会に出て自分の跳躍ができるように頑張りたいです。



## 【取材を終えて】

萩原さんは、明るくはきはきと取材に応える姿勢と、一転してひたむきに練習に打ち込む姿が印象的でした。ジュニアオリンピックで優勝した後も、次の目標に向かって、顧問の先生の指導に真剣に耳を傾けながら練習に集中する姿から、高い志と素直な心は、新たな一步を踏み出すときに大切なことだと改めて学ばされました。

このニュースが、市民をはじめ多くの皆さんの活力や、倉吉市に対する誇りになるのではないかと思います。

スポーツに限らず、あらゆる分野で日々頑張っている皆さんからも、嬉しい報告が届くことを楽しみにしています。

このたびは本当におめでとございました。

# 平和と人権を考える

## 倉吉市同和教育研究会市民活動委員会 活動報告

一人ひとりの命は尊く、自分がかげがえのない存在であると同時に他人もかけがえのない存在です。

そして、お互いの人権を尊重し合うとともに「思いやりの心」「かけがえのない命」を大切にする実践行動が必要です。

12月4日から10日は「人権週間」、12月10日は「人権デー」です。この週間を一人ひとりの人権週間(人権習慣)にしましょう。

平和や人権は、人類普遍の原理です。広島県福山市は、第2次世界大戦終戦1週間前の空爆で市の8割が破壊されました。倉吉市同和教育研究会市民活動委員会の15人は、10月30日(木)、福山市立人権平和資料館で視察研修を行いました。

焼夷弾の直撃を受けた親子三人像など館職員3人の真摯な説明に耳を傾け、参加者一同が改めて平和の尊さに強い感銘を受けた一日でした。



▶講演中、真剣に耳を傾ける参加者

### 視察研修参加者の声

▼親子三人像を見て、私が幼いころ、母が私を背中に負ぶって焼夷弾の降る中、焼けた人々を数知れず踏みつけ踏み越えて行った情景を思い出しました。

空爆の悲惨から人類が造りだした破壊行為は、同じエネルギーを費やして新しく創造していかなければならない。そのためにも同和教育は大切な学習であると感じました。

▼講演の話の中で、「部落差別の実態はよくなっていない。むしろ悪質・陰湿化している」と自ら

の体験を強く訴えられました。結婚問題では、特に大人の都合で責任のない子どもが被害を受けることなど、胸が痛くなりました。

みんなが幸せに暮らしていくために自分は何ができるだろうと、具体的に考え実行しようと思いましたが、まずは、家庭・職場などへと身近な人に伝えたいと思いました。

▼職員の説明の中で模型の飛行機(B29)を見せると、小学4年生の何人かが、「かっこいい」と言いました。だが、その子どもたちはしばらくたつと、飛行機に窓がないことに気づきました。

「みんなが知っている飛行機ではない。戦争のための飛行機だ」と問いながら説明を終わられました。

私たちは、だれもが生命を大切にされる平和な世界の実現を願っています。

### 平和な日々を願う……

しかし、残念ながら世界の各地では地域紛争などが後を絶たず、子どもたちをはじめ罪のない多くの人たちが、生命を奪われたり、生活が破壊されたりと、多大な犠牲を強いられています。

私たちはこうした状況を直視し、次代を担う子どもたちのために、生命や人権の尊さ、平和の大切さについて、日ごろの生活の中で考え合い、具体的な行動につなぐことが必要ではないでしょうか。

さらに誰もが学び合いたいと思えるような施設が今後できたらと強く感じた研修でした。



▲親子三人像。全国から届けられた千羽鶴が足元を埋める。

# ハート・パリアフリー

倉吉市人権政策課  
TEL22-8130/FAX22-8135

## みんなの 「まちの相談役」 人権擁護委員

あなたの身近にこんなことが起こっていませんか？

- ①差別落書
- ②障がいのある人に対する不当な扱い
- ③高齢者への虐待
- ④学校での「いじめ・差別」
- ⑤インターネットへの悪意の書き込み
- ⑥女性に対する差別
- ⑦外国人への差別など

人権擁護委員は、地域住民の中から人権擁護について深く理解のある人を市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。

倉吉市では、11人の人権擁護委員が人権に関する相談や啓発に取り組んでいます。今回は、人権擁護委員の役割や具体的な活動などを紹介します。

### 1 人権相談

人権にかかわる困りごと、悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください。

相談は無料で、相談内容についての秘密は厳守されます。

※問合せ先..鳥取地方方法務局倉吉支局(☎224108)

★常設相談所..法務局内に設置され、土・日および祝日を除いて毎日開設されています(開設時間は、午前8時30分〜午後5時15分)。

★特設相談所..市役所などで月に一程度開設しています。

子どもの人権相談は年4回開設しています。社会福祉施設でも、人権啓発と人権相談所を開設しています。

★専用相談電話  
女性の人権ホットライン  
☎0570-070-810

子どもの人権110番  
☎0120-007-110

★子どもの人権SOSミニター..手紙による人権相談です。昨年度は、小学1、3、5年児童と全中学生に配布し、県内で70件程度の相談がありました。今年度は、全小・中学生に配布しました。

### 2 人権啓発活動

★人権教室..おもに小学生、幼稚園・保育園児などを対象に紙芝居や人権出前講座(子ども

たちとのトーク、紙芝居、ダンスなど)を行ない、思いやりの大切さなどを伝えていきます。聖テレジア幼稚園・上井保育園で実施しています。

★人権の花運動..花の苗や球根などを、子どもたちが協力し合って育てることを通じて、「命の大切さ」や「相手への思いやり」という人権尊重思想をはぐくみ、情操を豊かなものにすることを目的としています。今年度は、高城小学校と灘手小学校で実施しています。



★全国中学生人権作文コンテスト..人権問題について作文を書くことを通じ、豊かな人権感覚を身につけることを目的として昭和56年から実施して

### 【倉吉市の人権擁護委員】(敬称略)

にしもと かつとし 西本 勝利	上井町2丁目
たねべ みつおき 種部 充恩	伊木
のぐち ともみ 野口 ともみ	昭和町2丁目
こだに つくお 小谷 次雄	東仲町
まつい みちこ 松井 美智子	広瀬町
やまね ひろまさ 山根 裕正	不入岡
たかおか のりこ 高岡 紀子	福富
なかい あきこ 中井 明子	中河原
むかい ひろし 向井 弘志	鴨河内
きしもと まちこ 岸本 真智子	関金町安歩
くらとみ けいはちろう 蔵富 啓八郎	関金町山口

人間が「命」という平等なものを授かり生きていくうえで、人権は大切に守られなければいけません。

しかし現実には、日常生活の中で人権にかかわるさまざまな問題が起こっています。

また、「人権」は目に見えるカタチとしてあるものではありません。人権侵害や不当な扱い、虐待などが実際に行われていても、なかなか表面化しないケースも多いと思われます。そこで、地域住民の身近な相談相手として、人権擁護委員が活動しています。

お互いに相手を思いやり、自分の人権も相手の人権も大切に守りながら、共に幸せな社会を築いていきましょう。

「育てよう一人ひとりの人権意識」

3 人権侵害による被害者の救済  
「人権を侵害された」という被害者からの申告などを受けて、情報の収集、人権侵犯事件の調査、処理にあたります。